



立命館大学国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

立命館大学国際平和ミュージアム平和教育センター

研究プロジェクト（「戦時・戦後における文学者を取り巻く時代意識の通時的研究」）

講演企画

「聖断」の語りはどう作られたか ——1950年代を中心に

五味渕典嗣 氏

（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

2025年2月21日（金）

15：30～17：00

立命館大学国際平和ミュージアム 2F

セミナールーム 1

対面開催（会場に直接お越しください）

事前申し込み不要

講師プロフィール

早稲田大学教育・総合科学学術院教授

専門は、近現代日本語文学・文化研究、とくに戦争文学と戦争記憶の表象。

単著に、

『言葉を食べる 谷崎潤一郎、一九二〇～一九三一』
（世織書房、2009年）

『プロパガンダの文学 日中戦争下の表現者たち』
（共和国、2018年）

『「国語の時間」と対話する 教室から考える』
（青土社、2021年）がある。近著に、

『「敗け方」の問題 戦後文学・戦後思想の原風景』
（有志舎、2023年）

助成：立命館大学国際平和ミュージアムプロジェクト研究助成

講演企画に関する問い合わせ先

lt0971pp@ed.ritsumeai.ac.jp（立命館大学博士後期課程院生・佐々木梓）